

静岡県の学校図書館

平成 24 年 9 月 発行
静岡県総合教センター
生涯学習推進室

学校内外の 協力体制

～学校図書館の活性化
をめざして～

学校図書館は、児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味関心を引き起こし、豊かな心をはぐくむ**自由な読書や読書指導の場である「読書センター」**としての機能を果たす。

学校図書館は、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに情報の収集・選択・活用能力を育成して**教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」**としての機能を果たす。（「これからの学校図書館の活用の在り方等について」平成 21 年 3 月子どもの読書サポーターズ会議）

学校図書館は、「読書センター」としての機能と「学習・情報センター」としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うとされています。そのためには、司書教諭のみならず全ての教職員等が、連携・協力して子どもの読書活動・学習活動を推進していくことが重要になります。今回は、教育委員会、公立図書館、保護者や地域の協力により、学校図書館がより活性化されている取組の一つを紹介します。

伊豆の国市立韮山中学校 — 授業で使える学校図書館をめざして —

伊豆の国市は、実際に稼動した反射炉としては世界で唯一現存する反射炉のある、歴史を身近に感じる町です。伊豆の国市では、小中学校間での図書相互貸借システムを構築し、授業に活用できる資料を共有化しています。

韮山中学校では、「月 1 冊以上を目標に幅広いジャンルの本に親しむ生徒を育てる」「様々なジャンルの本へ興味が持てるような配架を工夫した図書館経営を行う」を重点目標とし、司書教諭と学校司書が中心となって全校体制で読書推進に取り組んでいます。学校司書だけでなく、「〇〇先生のお薦め本」や「市内の他の中学校お薦め本」コーナーを設け、広く読書に興味・関心を持てるように工夫しています。さらに、養護教諭や栄養士とも連携し、薬学講座の会場入り口に関連本をディスプレイしたり、給食の献立表の裏面に健康と栄養に関する本のブックリストを掲載したりしています。このことで、講座の後で関連本を手にする生徒が増えたり、献立表を見た保護者から「ブックリストに載っていた本を読みたいの



【内科検診の待ち時間に関連本を読む生徒たち】

ですが。」という問合せがあったりしました。また、学校図書館に 3 紙の新聞を置き、新聞の切抜きをファイリングする、パンフレット等の資料を置くなど教科や総合的な学習の時間、職業体験学習などで利用できるようにしています。このように韮山中学校では、学校全体が一丸と

なった取組により、学校図書館の読書センター的機能と学習・情報センター的機能が充実し、生徒たちの学習を支えています。



【スポーツと栄養に関連する本のディスプレイ】

学校支援出前講座 — みんなでつくる学校図書館講座 —

今年度の学校支援出前講座は、伊豆の国市と静岡市の2会場で実施しました。伊豆の国市会場では、島田市立金谷図書館の学校図書館支援チームの取組についての事例発表がありました。また、学校図書館充実のための具体策として次の二つのテーマで講義・演習を行いました。

【学校図書館の資料の充実】(伊豆の国市会場)

荒川区教育委員会学校図書館支援室の主任学校図書館指導員である藤田利江氏の指導で、新聞を使った情報ファイルとそれらを保存するためのケースを牛乳パックで作りました。情報ファイルとは、新聞、パンフレットやリーフレットから必要な部分を切り抜き、台紙に貼って件名、日付、出所(例:〇〇新聞)、見出しを書いたものを件名ごとに分類、保存したものです。子どもたちの調べ学習に対応する資料となります。参加者からは、「早速、学校へ帰ったら作ってみたい。」「パンフレットがこんなにも役に立つということがよく分かった。」等の意欲的な声が聞かれました。情報ファイルを学校図書館に整備することで、図書資料だけでは十分ではない新しい情報を提供することができ、子どもたちの学習の充実、発展につながります。



【新聞を切り抜き、情報ファイルの台紙に貼る】

【学校図書館Q&A】(静岡市会場)

東京学芸大学講師の渡辺暢恵氏による「学校図書館Q&Aー司書教諭・学校司書・ボランティアが連携してー」の講義を聴きました。参加者からの質問に渡辺氏が答える形の講義でした。司書教諭・学校司書・ボランティアという様々な立場の参加者から「連携を取りたいのですが、なかなか打合せの時間がなくてどうしたらよいのでしょうか。」「魅力的な学校図書館づくりについて教えていただきたいです。」等の質問が出されました。渡辺氏からは千葉県柏市の取組例をもとに、具体的な図書館運営や学校図書館に携わるあらゆる立場の人たちの役目について大変丁寧に回答していただきました。さらに、グループワークではそれぞれの学校での取組を情報交換する中で、「学校へ戻ったら、すぐに実践してみたい。」という意欲的な感想が多くあり、有意義な講座となりました。

電話やメール、訪問等による支援Q&A

今年度の支援の例を紹介します。

Q



学校図書館の図書が古くて子どもたちが手にとらない本がたくさんあります。これまで本の廃棄がほとんど行われていなかったもので、傷みの激しい本だけでなく、出版年の古い本もたくさんあります。本の廃棄基準について教えてください。

A



廃棄はどの学校でも直面する課題です。まずはデータが古い・間違った情報が載っている等の図書は廃棄をしましょう。廃棄作業は学校の教職員のみなさんで行うと、先生方が学校図書館へ足を運び、授業に使う本をじっくり選ぶきっかけになります。蔵書について一定の質を維持し、組織的、計画的に廃棄作業をするために「廃棄基準」を各学校で作ることをおすすめします。全国学校図書館協議会から「学校図書館図書廃棄基準」も出されていますので参考にしてください。

- * 「静岡県の学校図書館」は県ホームページ「[読書県しずおか Book サイト](#)」に掲載しています。
- * 「[ふじのくにゆうゆう net](#)」では、学校図書館関連情報が見られます。トップページにある「[いきいき学校図書館](#)」をクリックしてください。
- * 学校図書館に関する問合せは、総合教育センター[生涯学習推進室 kouza@manabi.shizuoka-c.ed.jp](mailto:kouza@manabi.shizuoka-c.ed.jp)まで。